

「平和を実現する人は幸いである。その人たちは神の子と呼ばれる。」

～ マタイ5.9 ～

全校の皆さん、おはようございます。

皆さんはCOP26を知っていますね。COP26とは、「国連気候変動枠組条約第26回締約国会議」Conference of Partiesの英語の頭文字を取った略語です。この会議では、年々上昇する地球の温度と、それに伴い激しさを増す自然災害、北極などの氷が解けることによる海面の上昇、熱波による森林破壊など、数々の現象によって地球と地球上に住む様々な生き物の生存が危うくなっている状態を前に、国際社会がどのような対策をとるのか、話し合うための会議です。

地球温暖化の原因となっている二酸化炭素など「温室効果ガス」と呼ばれるものの排出量を、どれだけ減らせるかが、根本的なカギとなっていると思います。今回の会議は各国のその中間報告も含めた内容になっているそうです。

温室効果ガスの排出そのものを減らしつつ、すでに排出した分を森林などに吸収させたり除去したりすることで、実質的な排出量をゼロにするいわゆる「ネットゼロ」を、2050年までに実現することが求められています。皆さんも世界の動きや日本の取り組みに関心を持ち、自分の考えを持ち行動に移してほしいと思います。COP26の会場のあるイギリスのグラスゴー市内に11月5・6日にスウェーデンの18歳の環境活動家グレタ・トゥンベリさんを中心に世界から集まった若者が、地球温暖化対策を求める大規模デモの為に集まったそうです。その若者の人数は2日合わせて10万人に上ったそうです。日本国内でもCOP26に合わせて若者が集まり「気候変動対策を」求めるデモを全国10都道府県で行ったという報道がありました。温暖化の影響は温室効果ガスを大量排出する先進国よりも、排出量が少ない途上国の生活を直撃します。この不公平さを是正する「気候正義の実現が必要だ」と若者たちは叫んでいるのです。グレタ・トゥンベリさんをはじめ世界のたくさんの若者は自分たちの声をあげて自分の役割を果たしています。政治家や大企業・科学者はみんなそれぞれの立場でその大きな役割を果たして欲しいです。私たちはグレタさんたちと行動を共にすることはできませんが、私たちの方法で参加できるといいです。地球温暖化は、私たちが大量のエネルギーを使用することによって引き起こされていますので、省エネルギーに取り組むことが大切です。

使わない電化製品は、主電源を切り、コンセントからプラグを抜いておく。誰もいない部屋の電気は消す。水を大切に使う。プラスチックを減らす取り組みとして買い物の際はマイバッグを持参するとか、植物を育てるなどがあると思います。

今、401教室では高2の皆さんのSDGsの発表が展示されています。

皆さんは見ましたか。まだの人は是非見てください。その中にはただの研究に止まらず、研究内容を深めるために実際に足を運んで取材に行ったり、自分たちで作ってみたい、募金活動をしたり、文具を集めたり、フェアトレード商品を販売したりして行動に移す活動が目立ちました。机上の空論ではなく、行動を伴う研究ができたことは大変素晴らしい学習だったと思います。これもこの発表で終わらず、地球のためにより良い社会のために、自分の考えを該当する企業や政治家や学校に提案してみたり、行動可能な事なら行動してみたりして持続可能な活動として次の行動につなげていくといいですね。皆さんの主体的な活躍を期待します。

